

## 中高年のかぜには葛根湯より香蘇散

**Q** 六十七歳、女性。生来虚弱なタイプで、ちよつと油断するとすぐかぜをひきます。葛根湯（かつこんとう）がよいと聞いて飲んでみましたが、胃の調子が悪くなり、頭痛もします。どんな漢方薬がよいですか。

**A** 葛根湯はかぜに大変効果的だが、いくつか使用上の注意がある。まずかぜの初期に用いること。こじれたかぜや体力を消耗したかぜに使うことはない。次に新陳代謝が活発で胃腸も丈夫なこと。逆に代謝が低下し、動脈硬化症などがある場合は不適である。胃腸が弱い人は胃痛を起こしたり、血圧の高い人は狭心症などを誘発する危険があるので、原則として用いない方が安全である。最後に汗が出ていない、首筋が

こわばっているなど、主要な目標となる症状があることが葛根湯の適応条件である。

以上から、どちらかというところ葛根湯は若者向きの漢方薬で子供や若年者にはよく効くが、中高年のかぜには第一選択剤とならない。質問者のように中高年の方で葛根湯を服用して胃腸障害を起こしたり、血圧が上がって具合が悪いという場合が意外に多い。

中高年のかぜにも症状・兆候に応じていくつかの処方があるが、最もポピュラーなものは香蘇散（こうそさん）である。胃腸が弱く抑うつ気分があり、「ひどいかぜにはならないが一年中、かぜばかりひいている」という方にこんなによく効く安全性の高い漢方薬はない。かぜの予防、ひき始めの漢方薬としてお勧めしたい。